

令和5年度 第9回 学校運営協議会会議録

学校名	杉森中学校
記録者	佐久間 ゆかり

開催日時	令和6年3月9日（土） 第一部：午前9時40分より 第二部：午前10時45分より
開催場所	第一部：1学年各教室 第二部：3階図書室
出席者（委員）	岡田会長 村上職務代理 朝枝委員 小川委員 狩野委員 西野委員 福島委員 佐久間委員 佐々木校長
出席者（学校）	0名
傍聴者人数	0名

会議内容（次第順）

- 第一部：1年生との対話「働くってどんなこと？」
各学級に2.3人のコミ担（CS委員）を配置し、働く事について生徒に講演をしつつ対話を行った。
- 第二部：会議
- 1 会長挨拶
 - 2 校長挨拶
 - 3 議事録、配布資料確認
 - 4 審議事項 ・学校経営計画（案）、特別支援教室教育課程（案）の承認
 - 5 討議事項 第一部について意見交換
 - 6 その他

主な意見

- 1 会長挨拶
1年生徒の対話。後でそれぞれの内容の報告、意見、感想をお聞きするが、生徒とCS委員が直接顔を合わせて話し合うという意味で、意義があったのではないかと思う。初めての試みで、1回目から大きな成果が得られるというものではないが、積み重ねていくことで、深まっていくのではないか。
- 2 校長挨拶
本日のコミ担授業ありがとうございます。今後もCS委員がコミ担として生徒と関われる取り組みを考えていきたい。現在作品展で1年間の学びを展示している、ぜひ観ていただきたい。
今週より、3月19日の卒業式に向けた練習が始まった。卒業式は最後の学校行事であり3年生としての集大成の場。1、2年生は3年生の姿を見て、それぞれ1年後、2年後の自分の姿をイメージして欲しい。この1年間、杉森中学校の生徒は着実に成長した。その間、嬉しいことや楽しいことだけでなく、様々な困難もあったはず。振り返って、自分の成長に気づき、自信につながってくれたらとてもうれしい。CS委員の皆様には、本校の教育活動に対して、ご理解・ご支援をいただいたことに心から感謝している。本日の、教育課程、学校経営方針の承認よろしく願います。

- 4 審議事項
特別支援教育について
会長より
杉並区では特別支援教育について力を入れてきた歴史がある。CSでも理解を深めていきたい。
CS委員より
（案）の中の文面にある特別支援教室に通うために抜けた時間の学び直しについては原則家庭で、というのは区の方針か？
学校より
特別支援教室に通う時間は、本人と保護者と相談して個々の状況に応じて決定している。

来年度の定期考査について

学校より

新年度開始後のスケジュールを見直し、令和6年度より1学期の中間考査を廃止、1学期は期末考査のみとする。

CS委員より

評価をつける際に問題はないか。

学校より

単元ごとに評価をしているので問題ない。

学校経営計画（案）、特別支援教室の教育課程について（案）を再度確認し承認された。

5 討議事項

1年生との対話を経て委員の感想

- ・生徒の前に立ち緊張した。先生方は毎日この状況、改めて大変だと感じた。初めのうちは生徒も緊張していたが、話していくうちに質問の手も挙がり、いい時間を持てたと思う。最後の質問で「どの高校に進めば志望の大学にいけるか」と聞かれた。卒業講演会でもあったとおり、選択した道を正解にするのは自分自身だから夢への道は1本ではない事を伝えた。リアルな悩みを知ることができた。もっと視野を広げてほしいと感じた。
- ・自分の職場の（生徒の年齢に近い）若い職員のことを例に出して話した。男子生徒より女子生徒の方が将来を具体的に考えている子が多い印象を受けた。親でも先生でもない大人だからこそ生徒も聞く耳をもてる、質問してみようという意識が出てきているように見受けられ、良かった。最後に御礼の挨拶をしてくれた。気を遣っていただいて有難い。が、もっと気楽にコミ担に接してほしいとも思う。
- ・初めての生徒との関わり。担任からは事前に質問がいくつもあるように伺っていたが、いざ始めると生徒はおとなしくなかなか質問がでなかった。昨年先生方と交流したときにも「杉森の子はいい子なんだがおとなしく自分を前に出さない」と伺った、まさにその通りだと感じた。
- ・2日前にPTA主催の卒業講演会で生徒たちも聴いた内容と今回のテーマにリンクする点がとても多く、時期的にととてもよかった。女子がおとなしかった。もっと顔を合わせる機会を作りたい。
- ・生徒の顔を直接見る事が出来、掲示物で名前もわかり、会議だけではわからない実態が把握できてとてもいい機会をもらった。今回は1年生だけだが、これから先、もっと将来について具体的に2年生3年生とかさねて話す機会がもらえたら、生徒にとってもコミ担にとってもより良くなるのではと思った。コミ担の意味も出てくる。卒業式が感慨深いものになってくるだろう。
- ・質問の数がやはり少ない。大学生用のSPI対策の内容はほぼ中学生の学習内容だから義務教育の今のうちに勉強をしっかりしておいた方がいい、という現大学生からのメッセージを伝えた。
- ・生徒たちとの距離感が近かったので表情を見られてとてもよかった。思ったことをすぐに言葉に出す生徒がおり、矢継ぎ早に質問がくるのでなかなか進まなかったが、別グループでは逆に質問が少なく、やはり全体的にはおとなしい印象。コミ担としてももっと話の運び方を工夫したいと思った。
- ・貴重な経験だった。CS会議では間接的な情報だけだが、直接こうして生徒をみると会議で報告を受けた内容に納得がいった。こちらの話に対して興味を持つ子、持たない子、あからさまに拒否反応を示す子もいれば徐々に話し始める子、生徒それぞれの反応をみて自分の中学時代のクラスの雰囲気を出した。将来に対してまだ漠然としている子が多いが、具体的にこの職業につきたいと考えている女子もいた。

学校より

本日は初めて生徒と交流してもらった。これからもこういった機会を増やしていきたい。今後ご協力をお願いします。

会長より

学校運営協議会に関するアンケートについて、用紙を参照のうえ二次元コードから回答をしてほしい。

次回の会議日程

日時	令和6年4月15日（月）午後4時から
会場	杉森中学校 転入教職員挨拶 他